

へきなん自殺対策計画〔概要版〕

計画の趣旨・位置づけ・期間

（１）計画の趣旨

市民の誰もが自殺に追い込まれることのない社会の実現を目指し、効果的に自殺対策の施策を展開していくため、本市の自殺対策を推進する「へきなん自殺対策計画」を策定します。

（２）計画の位置づけ

「第３期あいち自殺対策総合計画」や本市の最上位計画である「第５次碧南市総合計画」、「碧南市地域福祉計画」「へきなん健康づくり２１プラン」等関係する他の計画との整合性・連携を図りながら進めます。

（３）計画の期間

平成 31 年度から平成 35 年度までの５年間とします。

自殺や自殺対策に関する基本理念・基本認識

《自殺総合対策における基本理念》

誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現を目指す

（自殺総合対策大綱より）

《自殺総合対策における基本認識》

- ① 自殺は、その多くが追い込まれた末の死である
- ② 年間自殺者数は減少傾向にあるが、非常事態は
いまだ続いている
- ③ 地域レベルの実践的な取組をPDCAサイクルを
通じて推進する



（自殺総合対策大綱より）



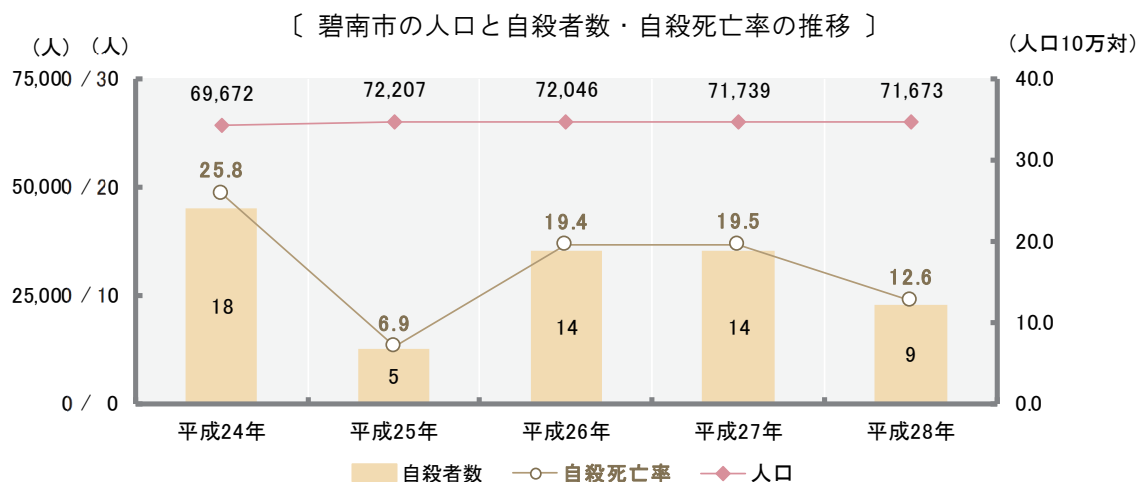
PDCA サイクル
とは

Plan(計画)・Do(実行)・Check(評価)・Action(改善)を繰り返すことによつて、取り組みを継続的に改善していく手法のことです。

碧南市における自殺の現状

碧南市の自殺死亡率（人口 10 万人当たりの自殺者数）の推移をみると、年ごとのばらつきはあるものの減少傾向で推移しています。

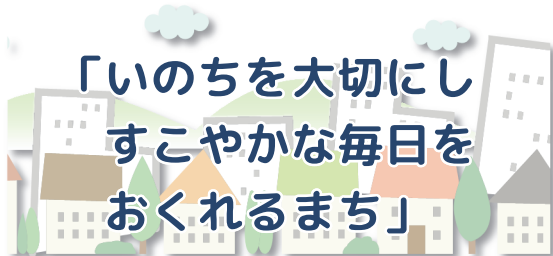
平成 28 年では自殺死亡率が 12.6 となっており、愛知県、全国と比較すると低くなっています。



資料：自殺総合対策推進センター「地域自殺実態プロファイル（2017）」

基本理念、計画の目標

〔 基本理念 〕



一人ひとりがかけがえのない個人として尊重され、市民の誰もが自殺に追い込まれることのない社会の実現を目指し、家庭、地域、学校、職場、専門機関等、様々な分野の人々や組織が密接に連携し、生きることの包括的な支援を推進します。

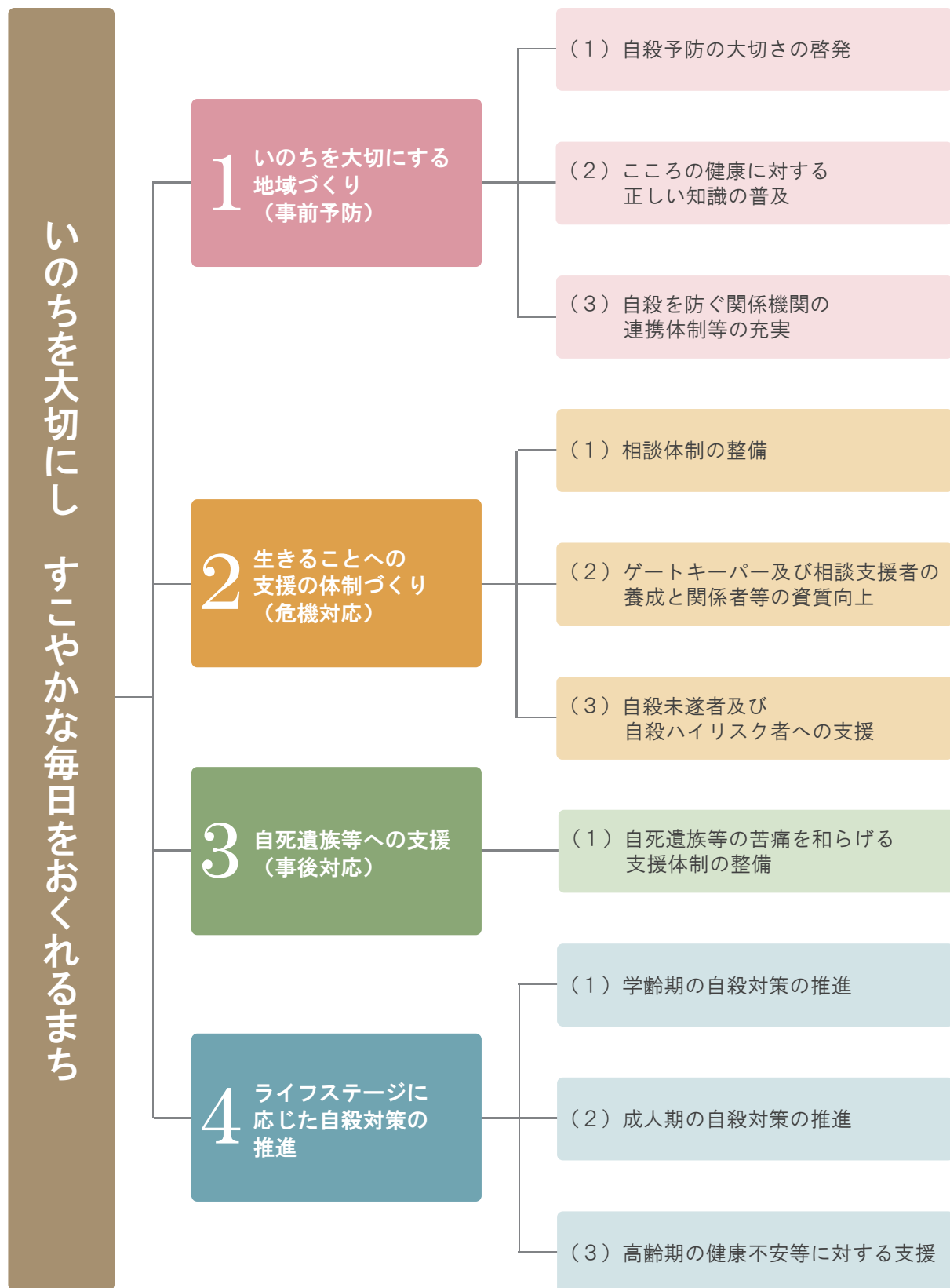
〔 計画の目標 〕

自殺死亡率を
平成 24～28 年平均の
16.8 から 15%以上減少



本計画の数値目標として、平成 35 年までに、碧南市の自殺死亡率を平成 24～28 年平均の 16.8 から 15%以上減少させ 14.0 以下にすることを目標とします。

	平成 24～28 年の平均 (基準)	平成 31～35 年の平均 (目標)
自殺死亡率の減少 (人口 10 万人当たり)	16.8	14.0 以下 (基準から 15%減)



ゲートキーパーとは

自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応（悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る）を図ることが出来る人のことで、言わば「命の門番」とも位置付けられる人のことです。

成果指標・重点取組

自殺対策推進のための取り組みの成果を測る指標として、以下の指標・重点取組を掲げて計画を推進します。

指標

① 自殺予防の市民への啓発

項目	現状値	目標値
自殺対策は自分自身に関わる問題だと思う市民の割合	31.2%	50%
悩みやストレスを感じた時に、誰かに相談することのために、ためらいを感じる人の割合	50.0%	40%

指標

② 自殺対策に係る人材の養成

項目	現状値	目標値
ゲートキーパー研修会の受講者数	—	250 人
ゲートキーパーについて知っている市民の割合	9.9%	30%

指標

③ 自殺を防ぐ地域力の向上

項目	現状値	目標値
自分が住んでいる地域の人々が日頃から互いに気遣ったり声をかけあっていると思う市民の割合	60.5%	70%

重点取組

市民への普及啓発

	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度
自殺に対する正しい理解の啓発			実施		
自殺予防週間、自殺対策強化月間での啓発			実施		

発行：碧南市
〒447-0855
TEL
E-mail

編集：碧南市健康推進部健康課（碧南市保健センター）
愛知県碧南市天王町1丁目70番地
0566-48-3751 FAX 0566-48-2165
kenkouka@city.hekinan.lg.jp